

## 学内における感染症予防対策について（協力依頼）

**入学前に予防接種の記録を確認し、必要に応じてワクチン接種を受けましょう**

2007年に高校生や大学生を中心に、麻疹が流行しました。また2013年現在、全国的に麻疹が流行しています。麻疹に罹患したものの9割が成人であり、大学生に相当する年齢のものも多数発症しているという報告があります。流行の主な原因としては、ワクチンの未接種、1回だけの接種で免疫がきちんと獲得されなかった、あるいは年数と共に免疫力が低下したことなどが考えられています。

麻疹・風疹は、例年入学直後の4月～6月頃に流行のピークを迎えます。また、大学生活では集団で集まる機会が増え、サークル活動やアルバイトなど行動範囲も広がるため、これまで以上に感染する機会が多くなります。麻疹・風疹の集団感染を予防するためには、麻疹・風疹ワクチンを2回接種したものの割合が95%に達する必要があるといわれます。幸い本学では、ここ数年間に麻疹・風疹の罹患報告はありません。しかし、平成25年度新入生の、麻疹および風疹ワクチンの2回接種率はそれぞれ65.4%、59.8%であり、中学入学以降での麻疹・風疹混合ワクチンの接種率も86.7%と低値でした。

さらに、教育実習、介護実習、病院実習を行う学部や、留学やインターンシップに参加する場合には、麻疹・風疹等に関する抗体検査結果や予防接種証明書の提出を求められます。そのため、入学前に母子健康手帳等の「予防接種の記録」を確認し、罹患歴がなく（かかった記録が残っていない場合も含む）、2回のワクチン接種を完了していない場合は、お近くの医療機関とご相談の上、「麻疹・風疹ワクチン接種」をされるようお願いいたします。自分自身をこれらの感染から守るため、さらには山口大学に在籍するすべての学生が、安心して健康的なキャンパスライフを過ごすことができるように、ご協力をよろしく願います。

なお、感染症罹患歴及び予防接種状況等を記載する自己申告書欄が、入学の手引「学生健康診断票」の裏面にあります。学内における感染症予防対策に役立てるため、母子健康手帳等を確認の上、できる限り正確に記載していただくようお願いいたします。